

## 令和元年度 精神保健福祉部会 記録

令和元年 12 月 20 日 (金)

9 : 00 ~ 12 : 00

リハセンター 2 F AV 会議室

出席者：障害者地域生活支援センターほっと、相談支援センターしなのめ、高松市保健センター、地域活動支援センタークリマ、訪問看護ステーションビートかがわ、ピアサポーター相談支援事業所 EVEN、香川県障害福祉課、東讃保健福祉事務所、大西病院、高松市障がい者基幹相談支援センター、いわき病院、高松市障害福祉課、精神保健福祉センター、訪問看護ステーションデューン高松、プライマリケア訪問看護ステーション、ライブサポートセンター、むつみ会、三光病院、三木町健康福祉課

### 1. 継続して協議する項目 9 : 00 ~ 9 : 40

#### (1) 情報共有・PR について

- ・「高松市における障がい者の防災対策研修会」について報告がありました。

#### 【避難行動要支援者名簿】

- ① 登録対象者は、40,000 人程度いらっしやると推計できる。実際登録されている方は、1 万 3000 人程度、(約 30%)
- ② 登録対象者は条件があるが、災害時に支援がないと不安な方は、申請できる。
- ③ 名簿に登録する際に避難支援者が 2 名必要となっているが、どうしても見つからない場合は、申請書の避難支援者の欄が空白でも構わない。(あくまで 2 名確保できない場合に限る)
- ④ 名簿登録のご案内は、毎年 7 月下旬から 8 月下旬にかけて新たに対象の要件に該当した方に郵送される。ただし、昨年度までに登録を希望しないと申し出ている方については、再度申請書は郵送されない。
- ⑤ 名簿に登録を希望している方のリストは、毎年 10 月下旬から 11 月上旬に各地区の 5 機関に名簿、情報提供される。(コミュニティ協議会、連合自治会、民協、地区社協、自主防災組織)
- ⑥ 名簿を活用して、避難訓練を実施している地区や各自治会にて担当を決めて個別支援計画を立てている地区もある。(鶴市、香川町川東等)
- ⑦ 名簿登録は、被災後の支援まで措置はしていない。ただ、一定の支援が必要ということが地域に情報提供されているため、ボランティア派遣等につながりやすくなる可能性はあるのではとの意見が出される。

#### 【福祉エリア・福祉避難所等】

- ① すべての人は、各地区の避難所に避難し、必要な方は、福祉エリアで対応する。福祉エリアで対応できない方のみ、改めて開設される福祉避難所

(52 か所指定) に移動することを基本とする。ただし、福祉エリアでは十分に対応できないことが、予め、判明している方の処遇をどうするかは課題として残っている。

- ② 福祉エリアや福祉避難所に避難した場合、一定の準備がされていないと避難生活が立ちいかなくなる可能性がある方が一定程度いらっしゃる。その点について一つ一つ取り上げ、対応策を検討することが重要との意見が出される。(例：医療的ケアが必要な方の電源の優先利用等)
- ③ 以前、風水害の恐れがあるため、車いすの利用者が、コミセンに避難したことがある。しかし、その時は、十分な対応ができず、帰宅した経緯があるという事例が、参加者から提起される。それに対して、講師から「毎年、市職員対象に実施している研修で、同じようなことが起きないように啓発していく。」との回答在り。

#### 【その他】

- ① 警戒レベル4で全員避難
  - ② 避難するために外出することに危険が伴う場合は、垂直避難を
  - ③ 支援者は、自らの命と健康を保持し、その上で、支援をすることが前提
  - ④ 「高松防災マップ」をもとに持ち出すものを整理しておくことよい。食料の備蓄は最低3日間が基本。
  - ⑤ 就寝場所には、倒れる可能性のある家具等を置かない。
  - ⑥ 避難行動要支援者名簿については高松市役所のホームページよりダウンロードできる。
- ・ 京都の ACT でご活躍され、現在相談支援専門員をされている方を講師としてお迎えし、地移行支援、アクトとの連携、病院との連携について講演をします。  
日時：2月22日(土) 13時30分～たまも園2階
  - ・ みんなの精神保健福祉を語ろう会  
大会テーマ「自立心を養おう！～経済的、精神的、生活面から考えよう～」  
日時：令和2年1月20日(月) 13:00～16:00  
場所：香川県青年センター  
対象：地域精神保健福祉に関心のある方ならどなたでも
  - ・ 子ども・若者育成支援シンポジウムのご案内  
日時：令和2年1月25日(土) 13:30～16:15  
場所：サンポートホール高松第2小ホール  
テーマ「すべての子どもや若者が生きられる社会を」  
問い合わせ先：香川県子ども政策推進局 子ども政策課
  - ・ ひきこもり家族会主催による講演会のご案内

「一人一人が大切にされる家族って？」

日時：2020年1月26日（日）13：30～16：30

場所：香川総合リハビリテーションセンター第1．2研修室

対象者：ひきこもりについて関心のある方・家族・当事者等

- ・地域精神障害者家族会のご案内

坂出に新しくつくし会という家族会ができました。

- ・令和元年度 精神障害者地域移行・地域定着関係者研修会のご案内

日時：令和2年2月20日（木）9：30～16：00

場所：香川県社会福祉総合センター7階 第二中会議室

- ・家族会の四国大会が2月25.26日坂出グランドホテルで開催いたします。

- ・三木町で断酒会地域例会が次回2月5日開催されます。

(2) 元年度部会の取り組み・企画について

①GSV・事例検討

→次回について、必要に応じて開催予定

②企画：医療と福祉の支援者の連携・交流企画

日時：2月12日（水）13：30～16：30

場所：かがわ総合リハビリテーションセンター福祉センター2階 第1.2研修室

対象：行政関係者、高松圏域の相談支援専門員、精神科医療機関、訪問看護ステーション

- ・依頼文、チラシ、紹介シートの最終確認を行い、各機関への周知をお願いする。
- ・前半部分の自己紹介について、各グループのファシリテーターが行うのではなく、全体のファシリが行った方が一体感が出るのではないか。
- ・2月5日10時竜雲メンタルクリニックにて最終的な打ちあわせを行う。

(3) 精神障がい者スーパーバイザー派遣事業について

①予定

3月13日 大樹福祉会 職員研修（40分）

就労系の事業所としてほっと川島をお願いをする。

②報告

12月5日 東讃保健福祉事務所

12月12日 高松市社会福祉協議会老人介護支援センター香川

2. 協議内容を決めたうえで、取り組む項目9：40～10：10

(1) ピアサポ活動の場・機会拡充及び研修の在り方検討WG報告

- ・ピアサポーター、支援者、当事者へ行った聞き取り調査の報告。
- ・今後の方向性として、ピアサポーターの活動の場を拡充していくために、まずは支援者にピアサポーターについて知っていただき、顔が見える関係になることが必要である。各参加機関のプログラム内でピアサポーターとの茶話会などを企画し

てもらいながら、ピアサポーターの有効性を伝えていく。

- ・ 1月、2月、3月と企画会議を行い、「ピアの人材育成にかかる研修に伴うもの」と「ピアの活動の場の拡充」について検討していき、ピアサポーターの活動に興味がある方をお呼びし、3月11日10時から報告会を行う。
- ・ 1月の企画会議：1月9日15時～精神保健福祉センター

参加者：

ピアサポーター5名、障害者地域生活支援センターほっと、地域活動支援センタークリマ、相談支援事業所ライブサポートセンター、高松市保健センター、訪問看護ステーションビートかがわ、相談支援事業所 EVEN、香川県精神保健福祉センター、香川県障害福祉課、高松市障がい者基幹相談支援センター

## (2) 家族支援の在り方検討 WG 報告

各家族会又は、関係機関でホームページにアップした内容について説明をし、その上で部会員が見学できそうな家族会等があれば、家族支援 WG の委員を中心に派遣をする。

- ・ 3月9日（月）13：30～むつみ会の家族会に部会員が見学に行く。

## 3. 精神科病院からの地域移行に関する項目 10：30～11：10

- (1) 精神科病院内 WG 実施状況の報告がありました。
- (2) 精神科病院長期入院者の訪問実態調査について話し合いを行いました。

### ①継続面接の具体的な内容について

訪問面接の継続について検討し、意欲喚起のために頻回な面接が有効な場合は、部会内で相談し、担当者等検討し、継続的な面接を実施していく。ピアサポーターの訪問面接についても検討していく。

### ②地域移行支援事業利用を促す場合の対応

必要性を感じた場合部会内で相談し、決めていく。

相談支援事業所が決まった先は記入をする。

### ③大川圏域における取組について

大川圏域の同じメンバーで協議していく。大川圏域で受けれるケースについては、高松圏域のサポートを受けながら実施していく方向。まずは部会を見学に来ていただいてもいいのではないかと。

### ④訪問面接についての報告がありました。

## 5. 地域移行支援事業利用予定者及び利用者に関する検討をしました。 11：15～12：00

## 6. 次回の予定

日時：令和2年1月17日（金）9：00～12：00

場所：かがわりハビリテーションセンター 福祉センター2階 AV 会議室